

- 2018年度の主な助成金の募集（公募）
- 2017年度 NPO基盤強化資金助成 贈呈式を開催
- 2017年度 海外助成 贈呈式を開催
- 第19回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞の贈呈式を開催
- 財団からのお知らせ

発行者 公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン日本興亜本社ビル TEL：03-3349-9570 FAX：03-5322-5257

http://www.sjnkwf.org/ Eメール：office@sjnkwf.org

2018年度

vol. 1

2018年度の主な助成金の募集（公募）

2018年度の社会福祉事業における助成金の公募を以下の通り予定しています。
※詳細は財団ホームページをご覧ください。

事業名 (募集時期/予算)	事業の内容 ※助成金額	対象となる団体	
自動車購入費助成 (6月1日～7月13日/総額1,000万円) 募集中	・主として障害者の福祉活動を行う団体が、 自動車を購入する際の資金を助成 ※1件100万円（上限）	・特定非営利活動法人 ・主として障害者の福祉活動を行う団体（ただし、加齢に伴う障害者（高齢者）の福祉活動団体は除く。） ・西日本地区に所在する団体	
NPO基盤強化資金助成	住民参加型福祉活動資金助成 (6月1日～7月20日/総額600万円) 募集中	・地域における高齢者・障害者・子ども等に関する複合的な生活課題に、地域住民が主体となって、包括的な支援を行なう活動に必要な資金を助成 ※1団体30万円（上限）、20団体程度	・5人以上で活動する営利を目的としない団体（法人格の有無は問いません。） ・東日本地区に所在する団体
	組織および事業活動の強化資金助成 (9月～10月/総額1,000万円)	・団体の基盤強化に結びつく事業に必要な費用、組織の強化および事業活動の強化のために行う、新規事業、あるいは既存事業の拡充・サービス向上に必要な費用を助成 ※1団体50万円（上限）、20団体程度	・社会福祉に関する活動を行う特定非営利活動法人、社会福祉法人 ・東日本地区に所在する団体
	認定NPO法人取得資金助成 (9月～10月/総額600万円)	・地域の中核となり、持続的に活動する質の高いNPO法人づくりを支援し、「認定NPO法人」の取得に必要な資金を助成 ※1団体30万円、20団体	・認定NPO法人の取得を目指す社会福祉分野の特定非営利活動法人 ・日本国内に所在する団体
海外助成 (9月～11月/総額400万円)	・ASEAN加盟国およびインドの非営利団体が地域の社会福祉に資する活動を行うための資金を助成 ※1件100万円（上限）	・社会福祉分野で活動をする非営利団体 ・ASEAN加盟国、およびインドに本部を置く団体 ※現地駐在員の推薦が必要です。	



2017年度 認定NPO法人取得資金助成先
＜子どもと文化のひろば ぷれいおん・とかち＞



2016年度 認定NPO法人取得資金助成先
＜みやぎ発達障害サポートネット＞



2017年度 自動車購入費助成先
＜夢ひろば＞

2017年度 NPO基盤強化資金助成 贈呈式を開催

損害保険ジャパン日本興亜(株)の支店のご協力で、助成金の贈呈式を開催しました。

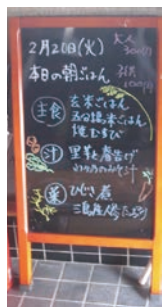
静岡支店



<遊水匠の会>



<静岡市障害者協会>



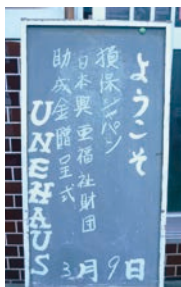
長岡支店



NPOの活動について具体的に知る機会が少なく、今回贈呈式でご訪問した際に代表の方からいろいろなお話を伺えて、大変勉強になりました。地域に密着した様々な活動をなさっていて、地域の方々にとっても頼られているのがわかりました。今後も活動を応援したいと思います。

[長岡支店 支店長席 畔上さん]

<UNE>



東北海道支店



贈呈は受賞団体のぷれいおん・とかち様で実施いたしました。私自身がこの団体の取組を今回初めて知り、地元で子ども達や子育てする親を支援するこんな素敵な所があることに感銘を受けました。理事長や職員の皆様の熱意や高い志に胸が熱くなりました。と同時に、このような団体への助成が出来る事を大変誇りに感じました。

当日はぷれいおん・とかちを利用する親子の皆様も数名施設を訪れていらっしゃいましたので贈呈式の写真にご参加いただきました。

少子化や核家族化で母親に係る負担が大きい現状の中ぷれいおん・とかちの存在は重要です。

認定NPOに向けて頑張ってくださいと思います。

[東北海道支店 支店長席 向井さん]

特定非営利活動法人

<子どもと文化のひろば ぷれいおん・とかち>

宮崎支店



農業と福祉の連携、そして、地域の高齢者の交流の場となる「ノウフク青果店」の運営、とても素晴らしい活動をされていると感じました。事務局長がとても熱く、これからの活動についてお話していただき、工夫と夢がいっぱいに詰まった今後の活動に、助成金が少しでも役立ってくれたら良いと願っています。帰り際に青果店で購入したイチゴはとても甘くておいしかったです。

[宮崎支店 支店長席 田部井さん]

<都城・三股農福連携協議会>

滋賀支店



<西黒田きんたろうサポート会>

沖縄支店



特定非営利活動法人

<沖縄県自立生活センター・イルカ>

★計61箇所に助成をおこない、全国21地区で各助成先へ行って贈呈式を開催しました。

2017年度 海外助成 贈呈式を開催

助成先のインドネシア、マレーシア、ミャンマー、シンガポール、フィリピンの5カ国で、助成金の贈呈式が開催されました。助成先団体の皆様、障害者団体など多くのご参列を得て開催され、現地の新聞などのメディアに掲載されました。

インドネシア

Lembaga Kesewadayaan Masyarakat Panca karya (LKM Panca Karya)



農産物生産における加工技術トレーニングや、観光事業における技術トレーニングなどを実施する多目的訓練所を建設するために助成をしました。

助成先であるLKMパンチャカルヤやトレーニングセンターを建てる村の地元の人をはじめ、和やかに贈呈式は執り行なわれました。日系メディア・ローカルメディアにも取材していただき、ウェブニュースや新聞等の媒体で紹介されました。

黒木達也さん (PT Sampo Insurance Indonesia) 贈呈式の出席者からは「今回の大きなサポートにより、近隣の村々で多目的利用の出来るトレーニングセンターを建設することができ、大変喜ばしく思っています。今回だけでなく、継続したサポートをしていただけると大変有難いです」とコメントをいただきました。

ミャンマー

Disabled People's Development Organization (DPDO)



障害者の日常生活を補助する補装具の購入や、その他日常生活支援および情報提供など社会参加に対する支援を行うための助成をしました。

DPDOの会長であるThant Zaw Oo氏のスピーチより、今回の助成が意義のあるものであったと確信をしたとの話があり、贈呈式出席者からは「多くの方より今回の助成に対する感謝を伝えられた。」とコメントをいただきました。



マレーシア

Kiwanis Down syndrome Foundation



就学前のダウン症幼児施設での屋外庭園の整備を通じ、自然とふれあい活動する場の提供をするための資金を助成しました。

助成先はマレーシアでも数少ないダウン症児専用の幼稚園です。先方からいただいたのは子供たちのカラフルな手形で描かれた一本の樹。子供たちを取り巻く社会に、この樹木を大きく育てる責任と幸せがあることを実感しました。引き続き多くの子供の支援に協力してゆきたいです。

〔瀬戸 豪さん (Berjaya Sampo Insurance Berhad)〕

贈呈式の出席者からは「ソンプの名前は知らなかったが、日本の団体が自分たちの活動を深く理解し支援してくださることに深く感謝したい。今から子供たちが庭で遊ぶ姿が目に見える。これからも子供たちの成長と一緒に見守っていただきたい。」とコメントをいただいています。

Yayasan Generasi Gemilang



貧困の連鎖を生み出さないよう、貧困家庭の児童に教育・食事・制服等の提供をしました。

贈呈式の出席者からは「日系企業はCSRに熱心であり、感謝したい。活動には色々な困難があるが、常に前進し子供をサポートし、貴社のような支援者の期待に応えてゆきたい」とコメントをいただきました。

シンガポール

Muscular Dystrophy Association



筋ジストロフィー患者向けに毎日の学校通学と定期的な病院での検診が受けられるよう、特殊車両の手配を支援しました。

フィリピン

Gawad Kalinga Community Development Foundation, Inc.



貧困層の自立化を目指し、ストリートキッズや紛争地域、公立学校の子供たちに対して栄養価の高い昼食などを食料支援しました。

第19回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞の贈呈式を開催

社会福祉に関する優れた学術文献を表彰する「第19回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」の贈呈式を2018年3月1日に損保ジャパン日本興亜本社ビルで開催しました。

受賞者の田中拓道氏（一橋大学大学院社会学研究科教授）が受賞著書の『福祉政治史－格差に抗するデモクラシー』についてご自身の研究の過程に触れながらご挨拶されました。受賞者及び文献要旨を財団ホームページに公開していますので、是非ご覧ください。



田中拓道さんと二宮理事長



受賞者の皆さま

＜桜井啓太さんと安藤藍さんに「奨励賞」を贈呈しました。＞



「＜自立支援＞の社会保障を問う
－生活保護・最低賃金・ワーキングプア」
(桜井氏著)



『里親であることの葛藤と対処
－家族的文脈と福祉的文脈の交錯』
(安藤氏著)

＜受賞記念講演会とシンポジウムのご案内＞

日時：2018年7月7日(土)午後1時～5時
場所：グランドアーク半蔵門（東京都千代田区）
内容：受賞記念講演会とシンポジウム

受賞記念講演会：田中 拓道 氏（一橋大学大学院社会学研究科 教授）

シンポジウム テーマ：市民は格差社会を変えることができるか？
－福祉政治への参加の回路を探る

コーディネーター：岩田 正美 氏（日本女子大学 名誉教授）

パネリスト：今野 晴貴 氏（NPO法人POSSE 代表）
湯浅 誠 氏（社会活動家／法政大学 教授）

コメンテーター：田中 拓道 氏（一橋大学大学院社会学研究科 教授）

お申込み：当財団ホームページ <http://www.sjnkwf.org/>

参加者募集中
参加費無料
先着150名様

財団からのお知らせ

財団が主催する研究会の叢書を発刊しました。

- 叢書91号 「福祉マネジメント研究会」報告書 『ニーズ対応型福祉サービスの開発と起業化
－ケーススタディ方式によるアクティブラーニング教材－』

当財団ホームページに全文を記載しています。どうぞご覧ください。また冊子をご希望の方は当財団までご連絡ください。また、『叢書92号 第18回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞 受賞記念講演録』も当財団ホームページに掲載しておりますので、どうぞご覧ください。